

1.C.1.b CO₂ の輸送（船舶）（Ships）（CO₂）

1. 排出・吸収源の概要

1.1 排出・吸収源の対象及び温室効果ガス排出メカニズム

当該分野では、CO₂ の地中貯留において、船舶により CO₂ が輸送される際の CO₂ の漏えいを扱う。我が国における過去の CO₂ 地中貯留事例では、CO₂ の輸送に船舶は使用されていないことから、「NO」と報告することとしている。

1.2 排出・吸収トレンド及びその要因

記載事項なし。

2. 排出・吸収量算定方法

記載事項なし。

3. 算定方法の時系列変更・改善経緯

表 1 初期割当量報告書（2006 年提出）以降の算定方法等の改訂経緯概要

	2015 年提出
排出・吸収量 算定式	2006 年 IPCC ガイドラインで新たに示された CO ₂ 輸送段階における漏出の排出量算定方法を採用。
排出係数	—
活動量	—

（1）初期割当量報告書における算定方法

2006 年 IPCC ガイドラインから新たに追加された排出源であり、初期割当量報告書では算定対象にはしていなかった。

（2）2015 年提出インベントリにおける算定方法

2006 年 IPCC ガイドラインにおいて、本排出源が新たに追加されたため、2014 年度における検討において算定・報告方法を検討したが、我が国における過去の CO₂ 地中貯留事例では、CO₂ の輸送に船舶は使用されていないことが確認されたことから、「NO」と報告することとした。